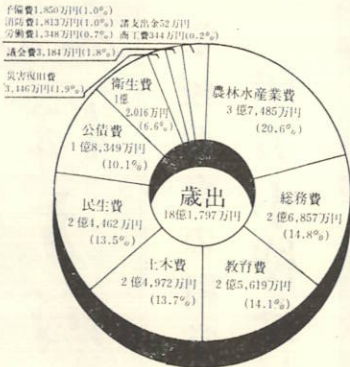




使われるお金の構成



一歳出＝  
ことしはこんな  
仕事をします

◎議会費 3,184万円 (1.8%)

この議会費の主なもの、18人の議員さんの報酬や手当に2,095万円。議員さんの旅費209万円。その他議長交際費や議会事務局職員の給与や手当、議員、職員共済費(138万円)が計上されています。

町内一斉放送施設を新設  
(広報無線)

◎総務費 2億6,857万円 (14.8%)

ことしの総務費は使われるお金の第2位にあたります。この総務費は職員給与、手当共済費が大きなウエイトを占めているほか、ことしの場合、役場から町内一斉放送のできる広報無線施設の新設に4,930万円予算計上されています。

大浜・中浦両集会所建設費に4,249万円。

生活環境整備促進調整費として100万円。

交通安全対策費101万円。

原子力発電所対策費224万円。

参議院議員選挙費に140万円。

庁用車庫新築費240万円。

区長さんの報酬がアップされ152万円に、

また広報「伊方町」編集費のほか、町勢要覧

いかたを発行する費用185万円が含まれて

います。

7つの保育所費に1億2,400万円

◎民生費 2億4,462万円 (13.5%)

当初予算の中で使われるお金の第5位がこの民生費です。その主なるものをピックアップしてみますと、身体障害者家庭奉仕員賃金の135万円。重度心身障害者医療扶助費515万円。

国民年金事務費767万円。隣保館費268万円。ホームヘルパー賃金261万円。老人クラブ助成金152万円。老人クラブ大会関係費30万円。敬老会助成金135万円(1人当り800円から1,000円に増額)長寿祝金114万円。

老人医療費(70歳以上のおとしよりは医療費が無料)前年より305万円多い3,334万円。

7つの保育所運営費に1億2,430万円(前年に比較して1,317万円増となっています)児童手当費3,812万円。

町見診療所＝歯科・内科の併設

◎衛生費 1億2,016万円 (6.6%)

この衛生費で特筆すべきことは、ことし町見診療所を新築することで、その建設費5,853万円が計上されています。鉄筋コンクリート2階建て歯科と内科が併設された診療所になります。

九町排水路整備に1,100万円。

成人病、結核検診、寄生虫検査に118万円

婦人ガン検診136万円。

カ・ハエ退治に253万円。

水質調査及び農業危害防止対策に225万円

乳児保健費133万円。

八西衛生事務組合負担金730万円。

助産所費が廃止されました。これは助産婦さんが高齢化したことなどから一時休所することになったものです。

◎労働費 1,348万円 (0.7%)

失業対策事業に必要な賃金766万円、原材料費79万円が主なもの。失業対策事業従事者は現在14人で平均年齢約65歳で高齢化が進んでいます。

古屋敷畑総整備に7,000万円

◎農林水産業費 3億7,485万円 (20.6%)

使われるお金のトップは前年度につづいてこの農林水産業費で、全体の20.6%にあたり。主なるものをクローズアップしてみますと古屋敷畑地帯総合整備事業7,171万円。中之浜樹園地農道整備3,959万円。

町見中央農道、河内上前田農道、河内に

かき農道整備費として4,002万円。

農道開設費300万円。

近代化、災害、農林漁業資金等の利子補給

に2,896万円。

国土調査事業費5,095万円。本年は九町地区及び二見、加周、古屋敷地区が新たに実施

されます。

松くい虫の防除対策を前年につづいてヘリ

空中散布する費用2,100万円。

水産関係では伊予灘漁場改良事業480万円

豊之浦の漁港改修に2,775万円。

鳥津、大成河漁港整備費2,911万円。

中浦、九町の海岸保全事業に2,775万円。

◎商工費 344万円 (0.2%)

商工会補助金140万円。

杜氏組合補助金30万円。

町の中小企業振興融資の信用保証協会への

預託金に150万円。

港湾整備に1億3,000万円

◎土木費 2億4,972万円 (13.7%)

使われるお金の第4位にあたり。町道湊浦伊方越線改良工事1,334万円。

生活園道路舗装100万円。

九町二見線、川永田豊之浦線(向舞)、中

浦茅の峠線の道路整備工事4,063万円。

臨時市町村道路整備事業で九町二見線、立

神線の整備工事に2,956万円。

高砂対策事業費に1億0,250万円。

その内訳は、

中之浜、仁田の浜、小中浦海岸線の高砂対

策に1億円。大浜消波工事250万円です。

大浜港局部改良事業に891万円。

小中浦港整備工事1,990万円。

◎消防費 1,813万円 (1.0%)

団員報酬が引上げられ367万円計上されて

います。

消防団員等災害補償退職報酬組合負担金

217万円。

中之浜、伊方越、畑須賀、亀ヶ池地区の可

搬動力ポンプ積載車及び消防自動車格納庫を

新築する工事費に762万円。

52年度  
一般会計  
どのように使われるか18億円

町見公民館・町見診療所・大浜、中浦集会所など建設

つきに一般会計予算について、そのあらましを紹介いたします。

全会計で二十三億円の町づくり

昭和五十一年度町の台所予算がスタートしました。この予算をみてみますと、一般会計予算で十八億一千七百九十七万円、国民健康保険特別会計予算四億一千二百八十三万円、水道事業会計七千九百七十七万円、学校給食会計四千三百六十四万円、墓地会計百七十七万円、港湾整備会計五百六十八万円となっています。

一般会計と五つの特別会計を合算しますと総額二十三億五千五百万の町づくり予算が誕生しました。この予算総額は、前年度にくらべ五億八千万の増で、特に一般会計予算の中で特筆すべきものは町見公民館、町見診療所、大浜、中浦両集会所建設、役場から町内一斉放送のできる広報無線施設の完備費などがあります。

こうした施設建設費のために原子力発電所による電源立地促進対策交付金事業が四億九千九百万円が含まれており、デカイクイ予算で各間のない明るい町づくりが進められます。

各会計予算をみる

| 年度別    | 一般会計     |         |       |       |     |     | 国保会計     |    | 水道会計 | 学校給食会計 | 墓地会計 | 港湾整備会計 | 合計 |
|--------|----------|---------|-------|-------|-----|-----|----------|----|------|--------|------|--------|----|
|        | 万円       | 万円      | 万円    | 万円    | 万円  | 万円  | 万円       | 万円 | 万円   | 万円     | 万円   |        |    |
| 昭和51年度 | 13億7,410 | 3億1,730 | 3,305 | 3,912 | 316 | 176 | 17億6,849 |    |      |        |      |        |    |
| 昭和52年度 | 18億1,797 | 4億1,283 | 7,097 | 4,364 | 117 | 568 | 23億5,226 |    |      |        |      |        |    |
| 増減     | 4億4,387  | 9,553   | 3,792 | 452△  | 199 | 392 | 5億8,377  |    |      |        |      |        |    |

町見公民館(3階建) 社会教育・文化施設の拠点に

◎教育費 2億5,619万円 (14.1%)

使われるお金の第3位にあたり。このなかには、52年度当初予算の中で一番デカイクイ事業として町見公民館建設費に約1億5,300万円が予算計上されています。

建物の規模は鉄筋コンクリート3階建(延817.38平方メートル)です。

6つの小学校に要する管理費1,877万円。

小学校振興費885万円。

2つの中学校に要する管理費892万円。

中学校振興費937万円。

社会教育費1,241万円。

このなかには家庭教育学級、就学前母親研

修会、成人式などの費用のほか、青年団、婦

人会、PTA、町同和教育協議会、町生活運

動推進協議会、文化グループ育成等への助成

金が含まれています。なお町生活運動推進協

議会では、補助金で葬儀用祭壇を2基購入す

る計画です。

中央公民館費479万円――青年学級、婦人

学級、生活学級、紅梅・若葉学級、成人学

級、分館学級等の各種学級の開催費用や公民

館結婚式、文化祭、公民館推進大会費など

です。また図書館を充実するため図書購入費と

して80万円が計上されています。

町見公民館費87万円。

保健体育費188万円。

町民運動会(53万円)、町民協補助金(28

万円)、スポーツ少年団育成、スポーツグル

ープ育成費がそれぞれアップ計上されてい

ます。夜間照明施設電気代44万円もこの中に

含まれています。

学校給食センター費1,645万円。

◎災害復旧費 3,446万円 (1.9%)

昭和51年度災害復旧査定済残りの7カ所分

(仁田の浜農道、船坂大峯農道(川永田)、

長崎農道、加周農道、河内農道、九町茅越農

道、中之浜農道)の1,459万円が計上されて

います。

このほか大成漁港西防波堤災害復旧費1,98

2万円があります。

◎公債費 1億8,349万円 (10.1%)

この公債費は、町づくりのため町が国など

から長期にわたって借りたお金をかえす費用

です。償還元金9,175万円。

利子9,174万円。

◎予備費 1,850万円 (1.0%)

本来の予備費100万円のほかに、職員の給

与改訂財源確保のために1,600万円が計上さ

れています。



明日の伊方を背負うよい子たち。元気ですくすくと伸びてほしいものです。

入ってくるお金の構成



一歳入＝  
町税は全体の12%

入ってくるお金の内容を円グラフを見ながら簡単にみてみますと、町民のみなさんが納める町税は、約12%の2億1,102万円です。

その内訳は固定資産税1億1,606万円

(55.0%)

町民税6,529万円(30.9%)

たばこ消費税1,355万円(6.4%)

電気料1,300万円(6.2%)

軽自動車税310万円(1.5%)

その他2万円となっています。

入ってくるお金のトップは、国庫支出

金で6億7,644万円(37.2%)計上してい

ます。

ついで地方交付税5億3,370万円(29.4

%)、県支出金が1億9,251(10.6%)と

なっています。

また、全体で支出目的がきまっている

財源は57.3%、きまっていない財源は42

.7%になっています。



